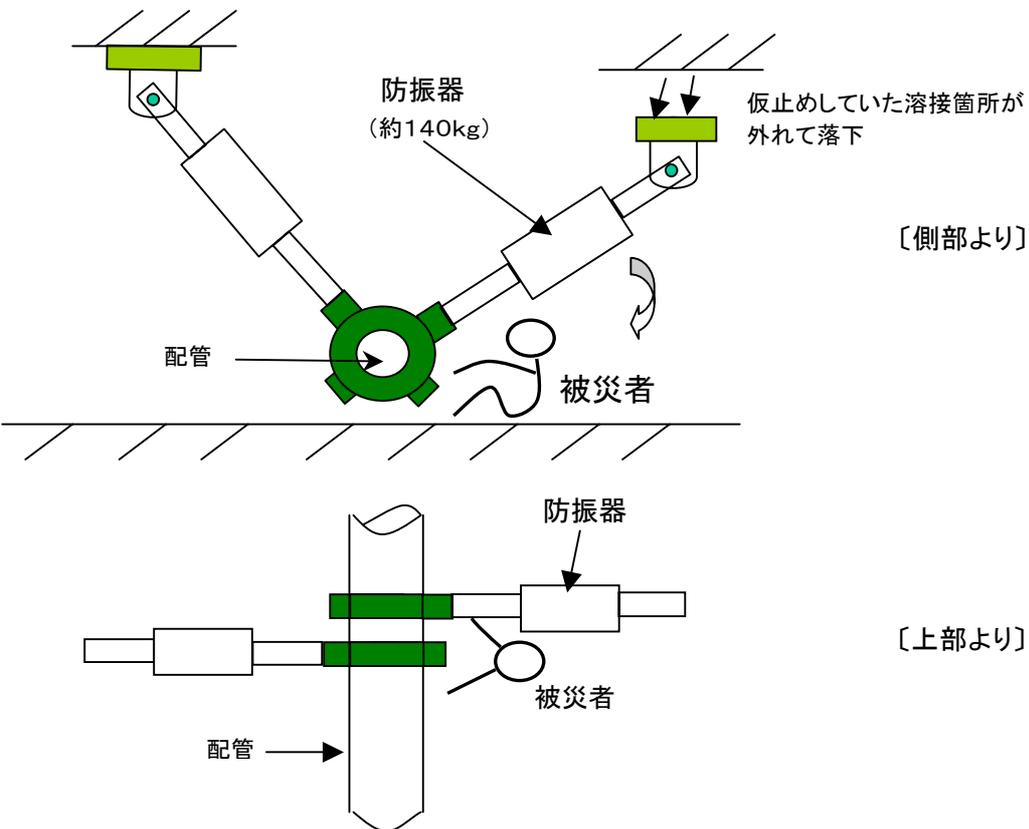
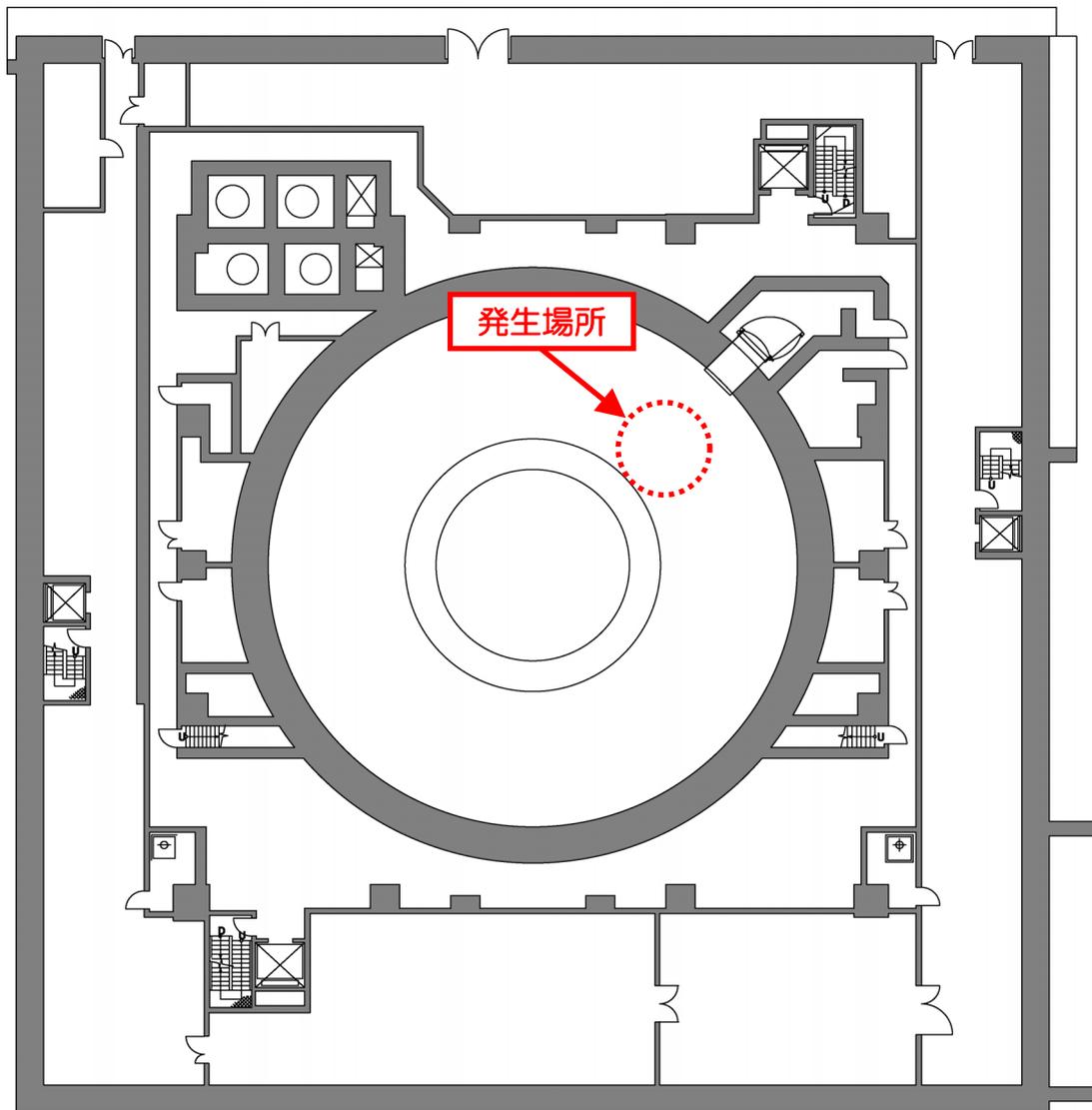


区分：Ⅲ

<p>号機</p>	<p>7号機</p>	
<p>件名</p>	<p>原子炉建屋の上部格納容器内（管理区域）におけるけが人の発生について</p>	
<p>不適合の概要</p>	<p>平成 20 年 10 月 16 日午後 3 時 30 分頃、7号機原子炉建屋の上部格納容器内（管理区域）において、協力企業作業員が耐震強化工事に伴う防振器（約 140kg）の取付作業を行っていたところ、当該防振器が、上部で仮止めしていた溶接箇所が外れたことにより落下し、当該作業員の身体にあたり負傷したため、救急車で病院へ搬送しました。</p> <p>なお、作業員の身体および傷口に放射性物質による汚染はありません。</p> 	
<p>安全上の重要度／損傷の程度</p>	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
<p>対応状況</p>	<p>診察の結果、第一腰椎圧迫骨折、右膝挫創、胸部打撲と診断されました。今後、同様の事象が生じない様に作業手順の見直しを図り、再発防止に努めます。</p>	

7号機原子炉建屋の上部格納容器内（管理区域）における
けが人の発生について



柏崎刈羽原子力発電所7号機 原子炉建屋 地下1階